

## 山陰シニア

会員交流バスツアーを実施 行事を機会に会員拡大へ

〇〇通信員

山陰シニアクラブは、会員の交流行事として4年前から日帰りバスツアーを行っている。

今年は5月21日（日）に広島県呉市の「大和ミュージアム」と「てつのくじら館」、安芸郡熊野町の「筆の里工房」を巡るバスツアーを行った。

松江駅前で参加者が揃い、内田会長の挨拶があり、バスは片道3時間余りの旅に向かった。車中では1年ぶりの再会を喜び、また6名の新加入会員ともアルコールも入るにつれ交流を深めた。呉に到着し、昼食の後、戦艦「大和」が10分の1スケールで再現され、呉の歴史や造船などの科学技術を伝える「大和ミュージアム」と潜水艦の内部を公開する「てつのくじら館」を見学。呉には海上自衛隊の基地があり、所属する護衛艦や潜水艦を海上から眺める「呉湾艦船めぐり」は圧巻であった。

熊野町は日本の筆の80%を生産、その「筆の里工房」では筆の歴史や世界一の大筆などの展示、筆の製作工程を見学し、帰路についた。

バスツアーについて、シニアクラブの会員から知人への案内や、共済ユニオンから共済加入者への案内を行い、今年も6名の新加入があった。単組の退職者組織が少ない山陰では、



このように行事を機会に会員増加を図っている。